

TOSHIBA 東芝LED照明器具取扱説明書

保管用

| 形名 | 別売 |
|---------------------------------|--|
| LEDL-06903N-LD9 LEDL-06903L-LD9 | LEB-L10003 (調光用電源ケーブル) LEB-L10013 (調光用延長ケーブル) |
| LEDL-09903N-LD9 LEDL-09903L-LD9 | LEDX-12203 (角度可変金具(2個組)) LEDX-12203-3 (角度可変金具(3個組)) |
| LEDL-12903N-LD9 LEDL-12903L-LD9 | LEDX-12102 (30度傾斜取付金具(2個組)) LEDX-12102-3 (30度傾斜取付金具(3個組)) |
| LEDL-15903N-LD9 LEDL-15903L-LD9 | LEDX-12002 (連結金具) |

このたびは東芝LED照明器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

■安全上のご注意

照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

- お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

■工事店様へ

施工上のご注意

| | |
|---|--|
| <p>⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> • 器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従って行ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。 • 電源線接続の際は、取扱説明書に従って行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。 • 施工時において絶縁体にナイフなどのキズがついた状態で通電されますと、絶縁破壊が生じ電線が焼損する原因となります。 | <p>! 取り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> • この器具は、海岸に面した臨海地域・沿岸地では使用できません。早期の錆発生、落下の原因となります。 • この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用しないでください。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具の落下の原因となります。 • この器具は、激しい振動・衝撃が加わる場所、常時振動がある場所には使用しないでください。そのまま施工されますと、器具落下の原因となります。 • この器具は、防湿器具ではありません。浴室などの高温となる場所では使用できません。変質、絶縁不良、感電の原因となります。 <p>⊘ 使用環境</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> • 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。 • 端子キャップやパッキンを取り外して使用しないでください。浸水・絶縁不良の原因となります。 | <p>⊘ 改造</p> |

| | |
|--|----------------------|
| <p>⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> • 銘板表示の電源電圧(100V/200V/242V)(変動範囲±6%)・周波数(50Hz/60Hz)にて使用してください。間違えて使用すると器具の短寿命、火災の原因となります。 • 周囲温度は、-20℃~+35℃の範囲以外では使用しないでください。点灯不良、火災の原因となります。 • 風速60m/sを超える場所では使用しないでください。落下の原因となります。 • 器具に雪もしくはこれに相当する氷雪が積もる場所では使用しないでください。落下の原因となります。 • 器具を取り付ける床面・壁面の強度を確保してください。強度が不十分ですと器具落下の危険があります。 | <p>⊘ 使用環境</p> |

- お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

■お客様へ

使用上のご注意

| | |
|--|--|
| <p>⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> • お手入れの際は、取扱説明書に従って行ってください。落下、感電、火災の原因となります。 | <ul style="list-style-type: none"> • お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。 <p>! お手入れ</p> |
| <p>⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> • 点灯中および消灯直後は器具が高温となっておりますので手を触れないでください。やけどの原因となります。 | <ul style="list-style-type: none"> • LEDモジュール・素子の交換はできません。 • 万が一、器具本体が破損した場合には必ず器具を交換してください。そのまま使用しますと機能を維持することができず、早期寿命となります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> • 照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。※使用条件は周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。 • 1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。) • 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る場合があります。 | |

■仕様

| | LEDL-06903N-LD9 LEDL-06903L-LD9 | LEDL-09903N-LD9 LEDL-09903L-LD9 | LEDL-12903N-LD9 LEDL-12903L-LD9 | LEDL-15903N-LD9 LEDL-15903L-LD9 |
|------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 質量 [Kg] | 1.1 | 1.5 | 1.8 | 2.5 |
| 入力電流 [mA] | 100V | 105 | 158 | 299 |
| | 200V | 54 | 80 | 150 |
| | 242V | 46 | 67 | 126 |
| 消費電力 [W] | 10.3 | 15.6 | 20.5 | 30.0 |
| 最大送り容量 [A] | 3.9 | | | |
| 器具1台あたりの 漏洩電流値 [mA] | 100V | 0.061 | 0.070 | 0.080 |
| | 200V | 0.123 | 0.144 | 0.160 |
| | 242V | 0.149 | 0.171 | 0.195 |



警告

器具を連結接続するときは下記2点に従って取り付けてください。

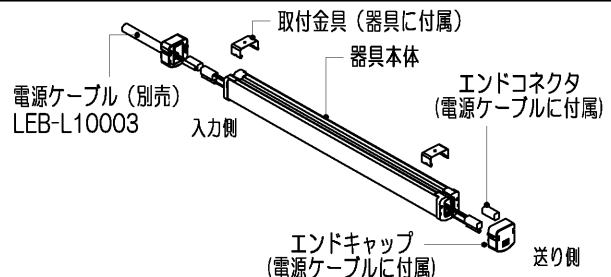
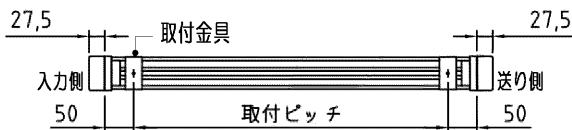
①器具の送り容量の合計が上表の値3.9A以下であること。

②器具の漏洩電流値の合計が使用するブレーカーの検知電流値以下であること。

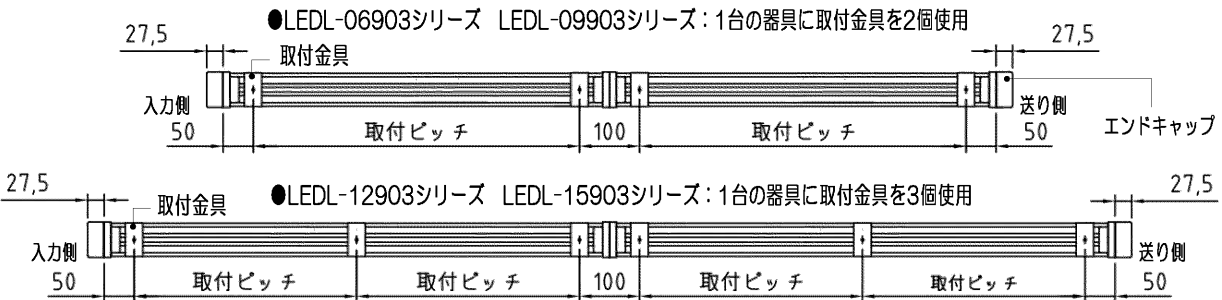
■器具の取り付けかた

1 器具の取り付け寸法 単位: mm

器具入力側には必ず本器専用の電源ケーブルを使用し、器具は付属の取付金具にて確実に固定してください。



◎下図のように器具を連結して使用する場合は、下記表に該当する取付ピッチで取付金具を取付面に固定してください。

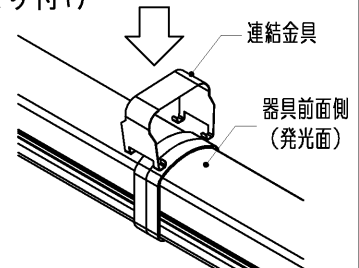


| 連結する器具形名 | 取付ピッチ [mm] | 取付金具使用数 |
|------------------------------------|------------|---------|
| LEDL-06903N-LD9 LEDL-06903L-LD9 | 544 | 2 |
| LEDL-09903N-LD9 LEDL-09903L-LD9 | 843 | |
| LEDL-12903N-LD9 LEDL-12903L-LD9 | 571 | 3 |
| LEDL-15903N-LD9 LEDL-15903L-LD9 | 720.5 | |

連結金具 (別売) の取り付け

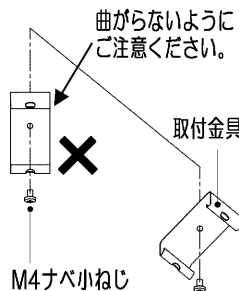
器具を壁面や天井面などに取り付けした後、器具連結部を密接させた状態で連結金具を器具前面側から取り付けてください。

【警告】器具を縦方向に連結するときには、連結金具は使用しないでください。変形、落下の原因となります。



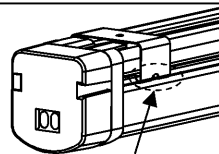
2 取付金具の取り付け

付属の取付金具 (2個または3個) を取付面に指定の取付ピッチ (連結部分のピッチは100mm) でM4ナベ小ねじで固定してください。連結して使用する場合は、右図のように取付金具が曲がっていると、正常に取り付けられませんのでご注意ください。



本体取り付けの際のご注意

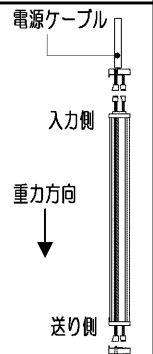
器具本体に取付金具が確実に引っかかっていることをご確認ください。
【警告】取付金具が変形したまま取り付けると、落下の原因となります。



器具を縦方向で 取り付けの際のご注意

器具本体の入力側が上向きになる方向で取り付けてください。

【警告】器具を縦方向に連結するときには、別売の連結金具は使用しないでください。変形、落下の原因となります。



■器具の取り付けかた

③ 器具本体の取り付け

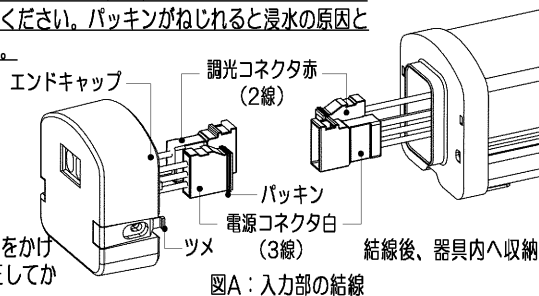
- 1) 器具を連結する場合：下記①～⑨を実施してください。
- 2) 器具を連結しない場合：下記①～⑥、及び⑧を実施してください。

- ① 電源ケーブルLEB-L10003（別売）と器具の入力側コネクタを確実に結線してください。取付には方向性があります。（必ず入力側から取り付けてください）
- ② コネクタをカチッと音が鳴るまで確実に接続してください。
- ③ 接続したコネクタは器具本体内に収納してください。
- ④ 入力側エンドキャップのツメ部のねじを緩め、ツメを器具本体に差し込み、ツメのねじを締付トルク0.6～0.9N・mで締めてください。このとき、図Bのようにエンドキャップとツメの指示面を同一面にして取り付けてください。
- ⑤ 図Cの手順に従い器具本体を取付金具に取り付けてください。取付金具に無理な力かけると変形してしまうため、取付金具が変形してしまった場合には、元の形状に修正してから再度器具本体の取り付けを行ってください。
- ⑥ 連結する器具を⑤で取り付けた器具の送り側へ結線して取付金具に取り付けてください。このとき図Dのようにコネクタを器具内に収納して器具間を密接させてください。
- ⑦ ⑥を連結する器具台数分だけ繰り返して取り付けてください。
- ⑧ 図Eのように連結部へエンドコネクタを取り付けてください。その後④と同様にエンドキャップのツメ部のねじを緩め、ツメを器具本体に差し込み、ツメのねじを締付トルク0.6～0.9N・mで締めてください。
- ⑨ 電源ケーブルの口出し線部分（電源線2本とアース線）は図Fのように結線してください。スリーブなどを使用して結線した後、各配線を自己融着テープを巻いてから絶縁テープを巻いて絶縁処理してください。調光線2本も同様に結線してください。口出し線の接続は電気設備技術基準の省令第7条、及び同解釈12条に従って接続してください。アース線はD種接地工事を行ってください。また、電源ケーブルは図Bに示す根元に、自重の負荷が掛からないように固定してください。接続や固定が不十分な場合は、電線からの浸水による絶縁不良や不点灯、断線の原因になります。

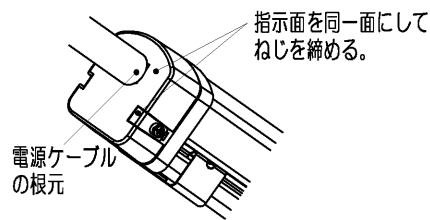
【警告】

電源ケーブルは必ず本機種専用のLEB-L10003をご使用ください。
（非調光用のLEB-L1000はご使用できません）

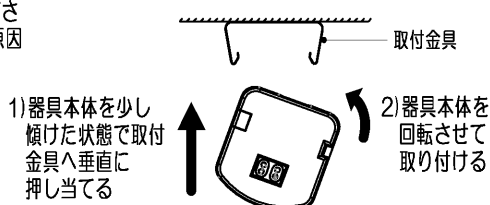
【警告】 コネクタの接続時、パッキンがねじれないようにご注意ください。パッキンがねじれると浸水の原因となります。



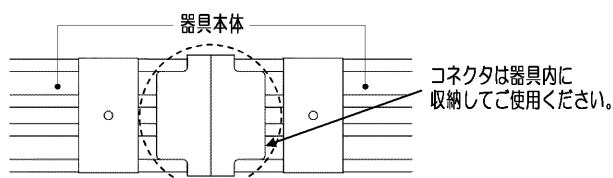
図A：入力部の結線



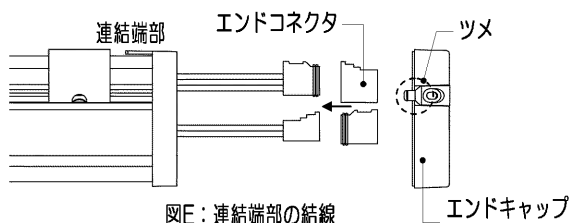
図B：連結端部の結線



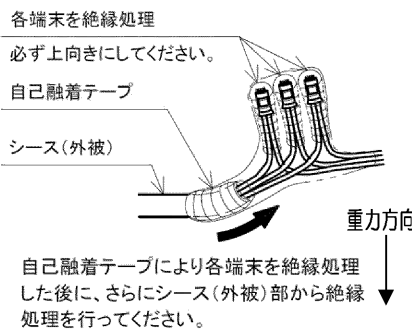
図C：器具本体と取付金具の取り付け



図D：器具連結状態



図E：連結端部の結線



図F：電源線及びアース線の接続

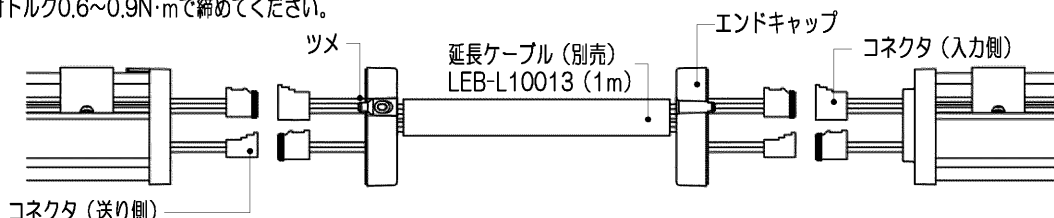
【警告】

防水処理および絶縁処理が不十分な場合、電線からの浸水による絶縁不良や不点灯の原因になります。

④ 延長ケーブルLEB-L10013を使用する場合

コーナー等で器具と器具の間に距離がある場合は延長ケーブル(別売)を使用して下記手順にて結線してください。

- ・入力側と送り側のコネクタを接続してください。
- ・入力側と送り側のそれぞれのエンドキャップのツメ部のねじを緩め、ツメを器具本体に差し込んでください。
- ・ツメのねじを締付トルク0.6～0.9N・mで締めてください。



5 角度調整金具(別売)の取り付け

●推奨締付トルク
M4: 1.5N・m
M6: 5.0N・m

- ① 固定金具と回転金具を上図のように重ね合わせ、付属のM4ねじで仮固定してください。
- ② 器具に付属している取付金具をM4ねじとナットにて回転金具に固定してください。
- ③ 角度調整金具をご希望の角度穴を選択してM4ねじで固定し、仮固定のねじも固定してください。
- ④ M6ねじ2本を使用し、固定金具を取付面に固定してください。
- ⑤ 器具を取付金具に取り付けてください。

6 傾斜取付金具(別売)の取り付け

【警告】
角度調整金具と傾斜取付金具は
風速50m/sを超える場所では
使用しないでください。
落下の原因となります。

- ① 器具に付属の取付金具をねじとナットで傾斜取付金具に固定してください。
- ② 傾斜取付金具の取付穴を使用し、M4ねじ(別売)で取付面に固定してください。
- ③ 器具を取付金具に取り付けてください。傾斜取付金具には方向性がありますので、向きに注意して施工してください。

7 調光制御装置の施工上のご注意

下記の調光制御装置を使用して調光(約5%~100%)を行うことができます。調光制御装置と組み合わせてご使用になる場合は次の点にご注意ください。

1. コントルクス(FLコントルクスPD)をご使用になる場合

(1) FLコントルクスPDは下記に示す製品をご使用ください。

・DF-70170-PD ・DF-70171-PD

(2) 設定スイッチは(図-1)のようにダイヤル1にセットしてください。

(3) その他のコントルクスをご使用になる場合は別途、お問い合わせください。

※白熱電球用コントルクス(2線式)と組み合わせて使用することはできません。
火災の原因となります。

(4) コントルクス用電源線(2線)が必要になります。

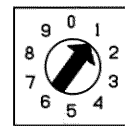
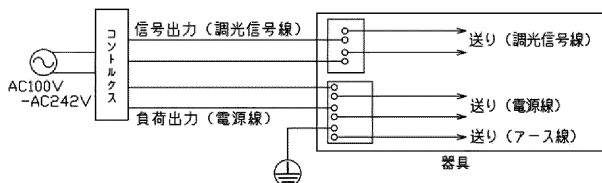
(5) コントルクスと照明器具との配線最長は200m以下としてください。

ただし、コントルクスから照明器具までの距離によっては調光動作にばらつきが生じる場合があります。

2. その他SESL、MESLと組み合わせてご使用になる場合は別途お問い合わせください。

3. 各制御装置へ接続する場合の最大接続台数は器具商品図面をご確認ください。

(参照URL <http://saturn.tlt.co.jp/pdocs/product.html>)



(図-1)

■保証とアフターサービス

弊社ホームページに掲載のメーカー保証規程をご確認ください。
修理を依頼されるときは『修理サービス規程』をご確認ください。

メーカー保証規程: https://www.tlt.co.jp/tlt/support/warranty/warranty_policy.htm

修理サービス規程: https://www.tlt.co.jp/tlt/support/repair_service/repair_policy.htm

ご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)
または弊社ご相談センターにお問い合わせください。
その際は商品の形名、お買い上げ時期、故障の状況などをお知らせください。



メーカー保証規程



修理サービス規程

保証について

- ・メーカー保証期間は、商品お買い上げ日より(引き渡し日)3年間です。但し、リモコンなどの付属品は、製品の保証期間にかかわらず、1年間です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048

(通話料: 無料)

携帯電話 046-862-2772

(通話料: 有料)

FAX 0570-000-661

(通信料: 有料)

ホームページアドレス <https://www.tlt.co.jp/>

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。